

緑の相談所だより

— 第 7 5 号 —

2002. 4. 1 発行

編集：財団法人旭川市公園緑地協会旭川市緑の相談所

庭木の選び方と植え方

日 時 4月14日(日)
午後1時半～3時半

講 師 旭川市緑の相談所
相談員 佐藤 文男

定 員 50名 無料

講

座

の

お

知

ら

せ

宿根草で作るすてきな寄せ植え

日 時 4月28日(日)
午後1時半～3時半

講 師 NPO北海道・花ネットワーク事務局
事務局長 林 准子さん

定 員 40名 無料

山野草の育て方

日 時 5月12日(日)
午後1時半～3時半

講 師 北海道山草趣味の会
会長 村田 悠治さん

定 員 50名 無料

楽しい野菜づくり

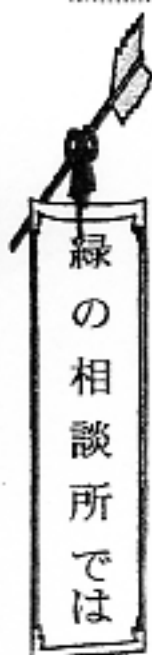
日 時 5月26日(日)
午後1時半～3時半

講 師 旭川市緑の相談所
相談員 佐野 元雄

定 員 50名 無料



お申し込み・お問い合わせは ☎65-5553



★相談コーナー★

草花の植栽方法、施肥及び病害虫防除などについて花と緑のエキスパートである緑の相談員が相談をお受けします。
電話でもお受けしますのでお気軽にどうぞ。

★図書コーナー★

花壇づくりや園芸など緑に関する専門書や入門書、雑誌及び各種資料を揃えています。

★視聴覚コーナー★

「趣味の園芸」「フラワーアレンジメント」など、緑に関するビデオテープを用意しています。
ご自由にご覧いただけます。

★植物展示室★

熱帯植物、ラン類、四季折々の草花など年中楽しめる緑の施設をご覧ください。

アザレアの栽培管理のポイント



- 1.成育適温
- 2.置き場所
- 3.水やり
- 4.花後管理

アザレアには2系統ベルギー系、アメリカ系があります。
 ベルギー系(適20~25℃ 適15~20℃) アメリカ系(適15~20℃ 適10~15℃)
 直射日光を好むので冬は日中窓辺やベランダに、夏は戸外に。
 鉢上の表面が乾いたら鉢底から出るくらい与えましょう。

5.植え替え

(再び花を楽しむために)

(a)いたんだ花は早めにハサミで元から切り取ってください。…花がら摘み

(b)整枝、剪定、摘心は4~5月に行ないましょう。…花後に

4月下旬~6月に行ないましょう。

(a)根の調整は、鉢から抜いて根鉢の周囲や底の部分割り箸などでほぐし、用土を取り除く。取り除く量は根鉢の20~30%が目安です。

(b)鉢の大きさは、前の鉢と同じか、少しおおきめの鉢が理想的です。

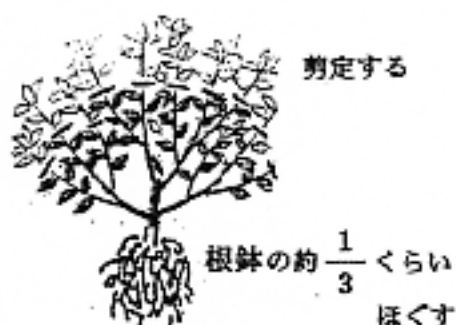
(c)用土は、鹿沼土7、ピートモス3の割合で混合したものが無難です。(pH4.5~5.5)

(d)植え方は、鉢底に大きめの鹿沼土を入れ、排水を良くし、株を鉢の中央部に置いて用土を入れましょう。

(e)植え替え後は、水をたっぷりを与え10日ぐらい日陰に置いた後通常の管理に。

(f)肥料は、油粕5、骨粉5、主体の置肥を月に1回施します。追肥としては液体肥料を7日に1回給水を兼ねて施します。

●花がらとり



- ◆落葉の原因は………室内では→温度急変、乾燥、鉢の移動等
- ◆栽培上の注意点………適温、日光、水やり、高温、乾燥等に
- ◆花芽分化期は………7月下旬~9月中旬、温度18~25℃、日長14時間以内
- ◆繁殖法は………挿し木、取り木、株分けなどで

挿し木用土は鹿沼土単用か、鹿沼土+ピートモス混合土

	月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
栽培歴	生育状況	○○○○○○○○○○○○○○○○○○				—————			—————			—————		○○○○○○
	植替・整枝剪定	開花期			生長期			花芽分化期			休眠期		期間	
	肥料						(7月1回) (9月1回)							
	置き場所	室内				屋			外			室内		



4月5月の園芸作業



○ 果樹、庭木の防除開始

昨年中、サクランボのミバエ、スモモ、ナシ等のシンクイムシ、またスモモのフクロミ病、モモの縮葉病、特に果実の熟す頃にみられるハイボシ病等の被害で苦労された方々も多かったようです。これらの害虫、病菌の多くは樹皮の割れ目、落葉の下、木の下の浅い土の中、落ちた果実の中で越冬しております。

暖かくなりこれら越冬病害虫が活動する前の早期防除が被害を避ける決め手です。

- ・ 樹木等の萌芽前の防除 ~ 落葉を清掃したり、地表を浅く中耕し、石灰硫黄合剤10~30倍液を地面、樹体に散布します。カイガラムシにはマシン油乳剤も有効です。いずれも新芽にかかるとう葉が枯れる等障害が出ますので要注意
- ・ 開花期前後の防除 ~ 暖かくなりスモモ等の花が咲く頃、シンクイムシ等も卵を生む時期に入ります。蕾がふくらんだ頃からスミチオン等を5~7日おきに2~3回以上散布します(満開時を避ける)

○ 樹木(花木、庭木、果樹)の新植

4月下旬、5月上旬まで、新芽が出る直前までが適期です。展葉後では後の生育に支障が出ます。

樹木類は植えた後土を替えることがないので、苗の新植時に堆肥分など十分入った良い土をつくり、広く深い植え穴(50×50cm以上)に植え込みます。

○ 花壇、野菜畑の土作り

畑に雪が残っていれば融雪剤(燐炭、苦土石灰等)を撒き早めに雪を解かし、土が乾いた後堆肥、石灰分等を施し、1度深く(30cm以上)耕しておきます。苗植え、種まきの10日前になってから基肥を入れ2回目の耕起をし、土を細かく砕き、整地、区画割をします。この時あらかじめマルチング等で土を温めておくと、苗を植えたときの根付きがよくなります。

○ 草花等の管理

- ・ 秋植え球根草花(チューリップ等) ~ 開花後早めに花がらを摘み、株の周囲に指先1つまみの化成肥料をまき、葉の生長を促し来年のための球根を太らせます。
- ・ 宿根草の植替え ~ 株(根)が混み合うと生育が衰えます。雪解け直後早めに株分け、植替えをします。萌芽直前が最適期です。

○ 室内鉢物を戸外へ

- ・ 葉焼けに注意 ~ 秋に室内に取り込んだ鉢物を戸外にだす場合、急に直射光線に長時間さらすと葉焼けの障害が出ます。最初は短時間、次第に時間を長くするなど徐々に外気に慣らしながら、手間を惜しまずに
- ・ 植替え ~ 多くの鉢物は休眠状態を終え、新芽を伸ばし始め生長の時期に入ります。5月は根づまりした鉢の土替え、鉢替え、株分け等植替えの最適期です。



16. 贈り物として良い木、比較的無難な木

イチイ、アカマツ、クロマツ、ゴヨウマツ、アカエゾマツ、カエデ類、ハクモクレン、ウメ、ツツジ類等。

※避けた方がよい木、成長の早いもの…シラカバ、ポプラ、アカシア、ヤナギ類、トウヒ、トドマツ等。

※枝が乱れ易いもの…ライラック、ユキヤナギ、レンギョウ、ヤマブキ、エニシダ、ハギ、ボケ等の灌木。

17. 記念樹に良い木

イチイ、イチョウ、ヨーロッパトウヒ、サクラ類、カツラ、エンジュ、ウメ、ユズリハ等。

18. 旭川市内栽培に適する主な常緑樹は

イチイ、アカエゾマツ、ブンゲンストウヒ、アカマツ、ニオイヒバ、モンタナマツ、ツルマサキ（フイリツルマサキ）等。

19. 造成した土地に家を建て庭木を植えたい。土地の改良法は？

客土をし、有機物+油粕、魚粕、骨粉、鶏糞等を加え、通気、排水をよくするために深さ50～100㎝ぐらい起こす。（なお改良には2～3年、時には4～5年を要す。）

①最初に植える植物は（灌木がよい）

ツツジ類、マルバシモツケ、コデマリ、ユキヤナギ、フジ、ウツギ類、レンギョウ、シラカバ、ナナカマド、ミヤマビャクシン（シンバク）、イチイ、ニオイヒバ等。

②1～2年後に —— シャクナゲ、ボタン、バラなど。

③数年後 ————— リンゴ、ナシ、モモ、ウメ、ブドウ、アンズなどの果樹類。

20. 庭土が火山礫土壌の場合は（火山灰地に適当な樹木は）※なお火山灰土壌の場合粒子の大きさにより異なる。

①生垣に

△特におすすめ…イチイ、イボタ、カラムツ、ウコギ、ネグンドカエデ、ハマナス、ドウダンツツジなど。

△次におすすめ…ウラジロハコヤナギ、シラカバ、キンロバイ、ギンロバイ、ホザキナナカマド、サンザシ、シモツケ、グズベリ、エゾヤマハギ、エゾノコリンゴ等。

②庭木に

△特におすすめ…ヨーロッパクロマツ、ヒメコマツ、モンタナマツ、ハイマツ、エゾムラサキツツジ、ドウダンツツジ、レンゲツツジ、ヤマツツジ、ウツギ、エニシダ、レンギョウ、ニシキギ、ムクゲ、エゾヤマハギ、ミヤギノハギ、ツルウメモドキ、チシマザクラ、ボケ、ライラック、オオデマリ、ハシドイ、オオタカネバラ、アキグミ、アジサイ、シラタマノキ、キバナシャクナゲ、キンギンボク、ユキヤナギ、エゾノコリンゴ等。

△次におすすめ…アカエゾマツ、ミヤマビャクシン、メギ、コケモモ、イブキジャコウソウ、エゾノコリンゴ、シラカバ、コデマリ、テマリカンボク等。

